



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月9日

上場取引所 東

上場会社名 北陸電気工業株式会社

コード番号 6989 URL <https://www.hdk.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 多田守男

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長 (氏名) 林 良徳

TEL 076-467-1111

四半期報告書提出予定日 2019年8月9日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	10,334	6.0	267	478.4	181	△48.9	106	-
2019年3月期第1四半期	9,751	△4.1	46	60.5	354	343.7	△10	-

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 27百万円 (-%) 2019年3月期第1四半期 △149百万円 (-%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	12.68	-
2019年3月期第1四半期	△1.24	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	38,668	12,417	32.1
2019年3月期	40,491	12,641	31.2

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 12,409百万円 2019年3月期 12,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	-	0.00	-	30.00	30.00
2020年3月期	-	-	-	-	-
2020年3月期(予想)	-	0.00	-	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	44,000	△2.3	1,400	4.2	1,300	△16.9	900	15.9	107.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年3月期1Q	9,250,099株	2019年3月期	9,250,099株
2020年3月期1Q	874,133株	2019年3月期	874,133株
2020年3月期1Q	8,375,966株	2019年3月期1Q	8,376,830株

※四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間の世界経済は、米国は拡大基調を維持したものの、企業の設備投資が振るわず、輸出も減少し、中国は米国による関税引上げなどにより輸出が低迷し、内需も弱い状況で推移しました。

わが国におきましては、個人消費は緩やかな持ち直し基調となりましたが、外需が弱含む中、輸出が横ばい圏で推移し、先行き不透明感が続きました。

そのような環境下、エレクトロニクス市場におきましては、情報通信機器関連の停滞基調が続き、自動車関連も減速が見られましたが、電装化の進展を背景に、電子部品需要は底堅く推移しました。

こうした状況のなかで、当社グループにおきましては、拡販を図る一方、引続き生産効率の改善に努めました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、自動車関連向けに、抵抗器等の受注が前年同期比増となったことから、売上高10,334百万円（前年同期比+6.0%）、営業利益267百万円（同+478.4%）となりましたが、円高ドル安シフトに伴い、為替差損137百万円を営業外費用に計上したことから、経常利益181百万円（同△48.9%）、親会社株主に帰属する四半期純利益106百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失10百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①電子部品

電子部品は、抵抗器、モジュール製品等の売上が前年同期比増となり、売上高10,080百万円（前年同期比+6.2%）、営業利益517百万円（同+87.1%）となりました。

②金型・機械設備

金型・機械設備は、金型受注がアミューズメント向けに振るわず、機械設備の売上も停滞したことから、売上高160百万円（同△25.9%）、営業損失6百万円（前年同期は営業利益6百万円）となりました。

③その他

その他は、商品仕入及び不動産業等にかかる事業であり、売上高は168百万円（前年同期比+42.1%）となり、営業利益は30百万円（同+7.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末は、世界経済の減速に伴う受注減により生産水準が低下したことから、前連結会計年度末に比べ、売上債権が減少し、現金及び預金と消費税の還付資金を借入金の返済に充当したことを主因に、総資産は1,822百万円減少し、負債は1,598百万円減少しました。

純資産は前連結会計年度末に比べ、株主資本が、親会社株主に帰属する四半期純利益により106百万円増加し、剰余金の配当により251百万円減少したことから、145百万円の減少となり、その他の包括利益累計額も、株安によるその他有価証券評価差額金の減少を主因に、79百万円の減少となったため、224百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当期の業績予想につきましては、2019年5月10日の公表から変更ありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,257	6,572
受取手形及び売掛金	13,259	10,221
商品及び製品	1,443	1,713
仕掛品	2,828	2,984
原材料及び貯蔵品	2,533	2,625
その他	1,695	771
貸倒引当金	△16	△21
流動資産合計	27,000	24,867
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,585	2,595
機械装置及び運搬具(純額)	3,545	3,776
土地	2,921	2,919
その他(純額)	292	284
有形固定資産合計	9,344	9,576
無形固定資産	388	538
投資その他の資産		
投資有価証券	1,141	1,038
繰延税金資産	1,423	1,462
その他	1,386	1,378
貸倒引当金	△194	△192
投資その他の資産合計	3,757	3,686
固定資産合計	13,490	13,801
資産合計	40,491	38,668

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,601	6,341
短期借入金	6,575	6,220
未払法人税等	227	136
賞与引当金	404	627
その他	1,448	1,909
流動負債合計	16,256	15,236
固定負債		
長期借入金	5,895	5,254
リース債務	483	606
繰延税金負債	3	2
再評価に係る繰延税金負債	327	327
退職給付に係る負債	4,754	4,699
その他	128	125
固定負債合計	11,593	11,015
負債合計	27,850	26,251
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,200	5,200
資本剰余金	5,038	5,038
利益剰余金	3,207	3,062
自己株式	△1,152	△1,152
株主資本合計	12,294	12,148
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7	△87
土地再評価差額金	685	685
為替換算調整勘定	△75	△86
退職給付に係る調整累計額	△262	△250
その他の包括利益累計額合計	339	260
非支配株主持分	7	7
純資産合計	12,641	12,417
負債純資産合計	40,491	38,668

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	9,751	10,334
売上原価	8,425	8,816
売上総利益	1,325	1,517
販売費及び一般管理費	1,279	1,249
営業利益	46	267
営業外収益		
受取利息	18	16
受取配当金	39	41
為替差益	258	—
その他	32	31
営業外収益合計	348	90
営業外費用		
支払利息	22	17
為替差損	—	137
その他	17	22
営業外費用合計	40	176
経常利益	354	181
特別利益		
固定資産売却益	—	0
受取保険金	—	1
その他	3	—
特別利益合計	3	1
特別損失		
固定資産売却損	1	—
固定資産除却損	4	0
訴訟和解金	320	—
その他	2	—
特別損失合計	328	0
税金等調整前四半期純利益	30	182
法人税等	40	76
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10	106
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△10	106

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10	106
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	22	△80
為替換算調整勘定	△176	△10
退職給付に係る調整額	14	11
その他の包括利益合計	△139	△79
四半期包括利益	△149	27
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△149	26
非支配株主に係る四半期包括利益	—	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。また、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(セグメント情報)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,489	177	9,667	84	9,751	—	9,751
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	38	38	34	73	△73	—
計	9,489	216	9,706	118	9,825	△73	9,751
セグメント利益	276	6	283	28	311	△265	46

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(㈱大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。
2. セグメント利益の調整額△265百万円には、セグメント間取引消去14百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△280百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	電子部品	金型・ 機械設備	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,080	119	10,200	133	10,334	—	10,334
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	41	41	34	75	△75	—
計	10,080	160	10,241	168	10,409	△75	10,334
セグメント利益又は損失 (△)	517	△6	511	30	541	△273	267

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品仕入(㈱大泉製作所製品)及び不動産・保険代理業に係る事業であります。
2. セグメント利益の調整額△273百万円には、セグメント間取引消去15百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△289百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。